



2020年8月13日

各 位

会 社 名 ラ ン サ ー ズ 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 CEO 秋 好 陽 介
(コード番号：4484 東証マザーズ)
問 合 せ 先 執 行 役 員 CFO 小 沼 志 緒
TEL. 03-5774-6086

通期業績予想の公表に関するお知らせ

2020年5月14日に公表いたしました「2020年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」において未定としておりました、2021年3月期（2020年4月1日～2021年3月31日）の業績予想を下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2021年3月期通期連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 未定	百万円 未定	百万円 未定	百万円 未定
今回発表予想（B）	3,950～4,300	10～50	10～50	0～40
増減額（B－A）	—	—	—	—
増減率（％）	—	—	—	—
（参考）前年実績 （2020年3月期）	3,474	△307	△328	△353

2. 業績予想の公表の理由

当社グループは、2020年5月14日において、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に伴う緊急事態宣言が延長される等、拡大の収束が見通せない状況であり、当社業績の適正かつ合理的な予想の算出が困難なため、2021年3月期通期業績予想は未定とし、第1四半期業績予想のみを開示しました。

現時点においても新型コロナウイルス感染症の収束時期は不明な状況が続いておりますが、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき、業績予想を公表するものであります。

今後の我が国経済は新型コロナウイルス感染症の影響により、景気の見通しは極めて厳しいものになると考えられますが、当社が運営するフリーランスと企業のマッチングサービスはオンラインで業務が可能であり、緊急事態宣言時はテレワークの浸透により副業ニーズが高まり、登録ランサー数（ユーザー数）が増加しました。緊急事態宣言解除後には、テレワークによって「オンラインで仕事をする」という働き方が浸透したこともあり、クライアント登録数が増加しております。当社グループとしては、この苦境を追い風と捉え、さらなる事業拡大を図るべく、様々な施策を展開してまいります。

具体的には、セールス&マーケティング及びプロダクト開発の強化により、クライアント数の

拡大及びクライアント単価の向上を行ってまいります。また、市場変化に伴うクライアントニーズに応えるべく、新サービスリリース等を積極的に行います。更に、広告投資においては、各事業の状況及び経済状況を踏まえた規律ある投資を継続する方針です。

このような状況から、通期の連結業績予想につきましては、売上高を3,950～4,300百万円と見込んでおります。損益面については、セールス&マーケティング及びプロダクト開発投資の実施により、営業利益は10～50百万円、経常利益は10～50百万円、当期純利益は0～40百万円と予想しております。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響によって不透明な事業環境の継続が予想されることに加え、中長期の成長に向けた様々な投資を事業環境や新規事業の進捗状況等に応じて、機動的かつ柔軟に実行していく予定にしているため、レンジでの見通し開示としております。2021年3月期の第1四半期から第2四半期にかけては、新型コロナウイルス感染症による業績へのマイナス影響が生じる想定をしていますが、レンジの上限値はそのマイナス影響が第3四半期にはほぼ生じないことを、そして、下限値はその影響が第3四半期まで継続していること等を前提としています。

以上